アニコムの
ビジネスモデル

anicom’s business model

証券コード:8715

anicom
アニコム ホールディングス株式会社

1 会社概要

1. グループ全体像と沿革
2. グループの理念体系
3. ペット保険の市場環境
4. ペット保険商品について
5. アニコムの強み

1. グループ全体像と沿革

子会社の経営管理事業

資本金:8,202百万円
設立:2000年7月

anicom アニコム損害保険株式会社

損害保険業｜ペット保険
資本金:6,550百万円
設立:2006年1月

anicom pafe アニコム パフェ株式会社

動物病院支援事業
資本金:50百万円
設立:2004年12月

anicom medical アニコム先進医療研究所株式会社

動物医療の臨床・研究
資本金:50百万円
設立:2014年1月

SIMNET

ペット関連ネットサービス
資本金:100百万円
設立:2001年3月
子会社化:2020年1月

Flowens

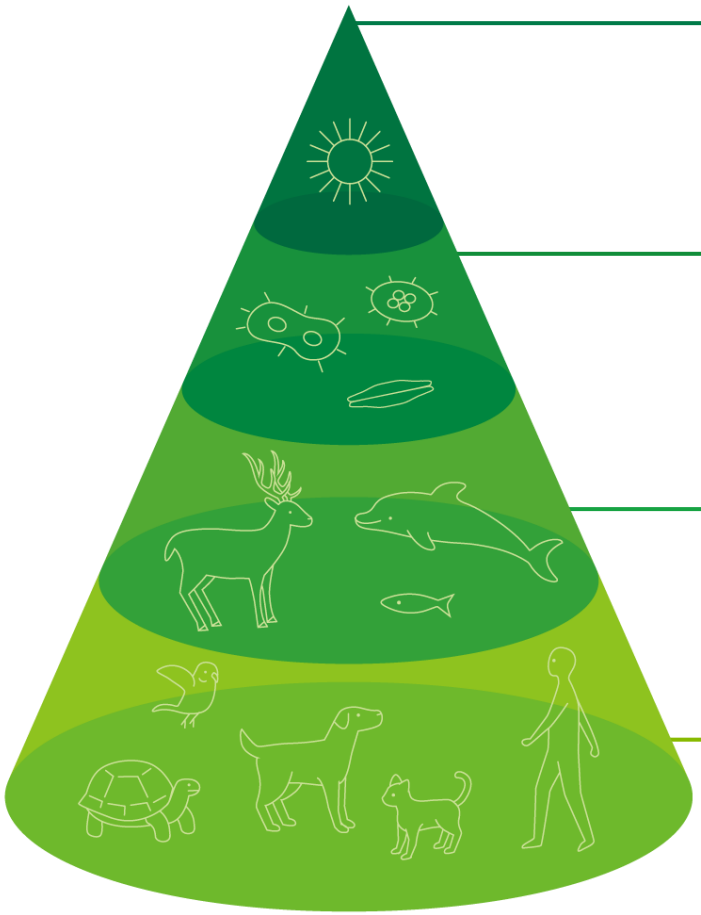
ブリーディング事業
資本金:100百万円
設立:2020年4月
子会社化:2024年3月

2000年 4月	任意組合として anicom(どうぶつ健康促進クラブ)設立
2000年 7月	anicomから「どうぶつ健保」事務受託会社として㈱ビーエスピー設立 (2005年1月にアニコム インターナショナル㈱に、2008年6月に アニコム ホールディングス㈱に、それぞれ商号変更)
2004年12月	アニコム パフェ㈱設立
2005年 2月	アニコム フロンティア㈱設立
2006年 1月	保険会社設立準備のため、アニコムインシュランスプランニング㈱設立 (2007年12月にアニコム損害保険㈱に商号変更)
2007年12月	アニコム損害保険㈱が損害保険業免許を取得 アニコム インターナショナル㈱が保険持株会社としての認可取得
2008年 1月	アニコム損保㈱がペット保険の販売を開始
2008年 4月	アニコム損保㈱がペット保険の補償を開始
2009年11月	「家庭どうぶつ白書」発刊(以降、毎年発刊)
2010年 3月	アニコム ホールディングス㈱が東証マザーズ上場(証券コード:8715)
2014年 1月	日本どうぶつ先進医療研究所㈱(現「アニコム先進医療研究所㈱」)設立
2014年 6月	アニコム ホールディングス㈱が東証一部に市場変更
2015年 7月	アニコム キャピタル㈱設立
2016年 4月	当社49%、富士フイルム㈱51%出資の動物の再生医療に関する合弁事業 として、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス㈱を設立
2017年 3月	当社49%出資の中国における動物医療に関する合弁事業として、香港愛你康 有限公司を設立
2020年 1月	株式会社シムネットの全株式を取得し、完全子会社化
2021年 3月	富士フイルム㈱との合弁契約を解消し、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス㈱ の事業をアニコム先進医療研究所㈱にて承継 アニコム キャピタル㈱を解散
2022年 2月	Hong Kong Anicom Company Limited(香港愛你康有限公司)の 増資引き受けを行い子会社化
2022年 4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、市場第一部からプライム市場に移行
2022年10月	アニコム パフェ株式会社がアニコム フロンティア株式会社を吸収合併
2024年 3月	株式会社フローエンスの株式を取得し、連結子会社化

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2.グループの理念体系

社会を取り巻く環境が劇的に変動する中、ペット業界に携わる当社グループが社会的課題の解決に貢献し、更なる企業価値向上と持続的成長を果たすべく、経営の最上位概念としてこの理念体系を位置付けています。



パーパス（存在意義）

世界中に「無償の愛」を伝え、
平和を取り戻し、維持発展させる。

ビジョン（経営理念）

ani（命） + communication（相互理解） = ∞（無限大）

アニコムグループは、それぞれの命が持つ個性の違いを互いに尊重しあい、分業協力することで、
世界中に「ありがとう」を拡大します。

ミッション（企業使命）

①戦争抑止、平和の回復・維持発展に資する行動をペット業界として行う使命
②社会発展とペット業界発展が同調したサステナブルな業界へ変革させる使命
③高齢者・障がい者・子ども・社会をサポートする使命

クレド（行動指針）

①オープンで、「対話のできる法人」を目指します。（オープン志向）
②常にお客様の視点に立って、新しい価値の創造に努めます。（マーケットアウト志向）
③個々に与えられた役割（ロール）を最高に演じる（プレイング）事で、個人と組織の飛躍的成長を促進します。
（ロールプレイング志向）

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

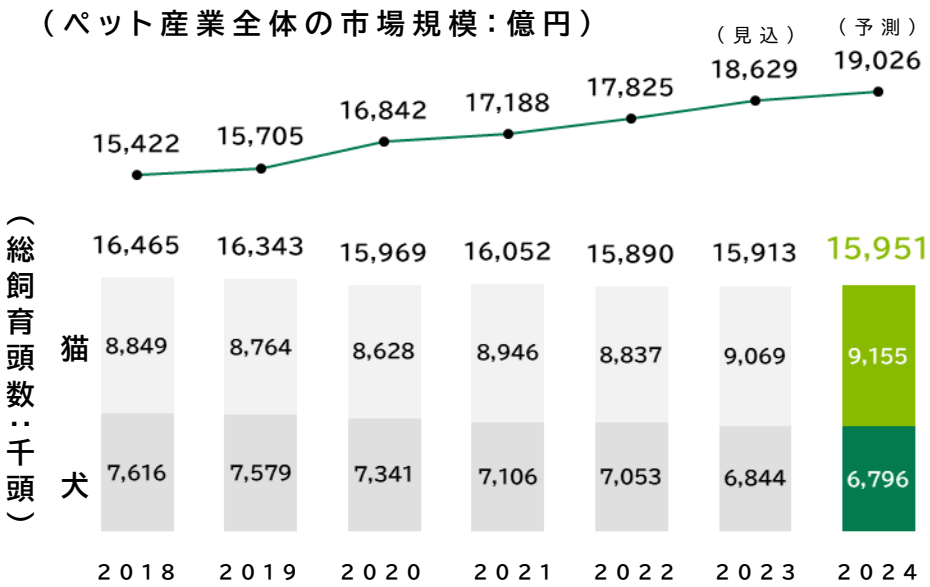
3.ペット保険の市場環境

(1)ペット関連市場の推移

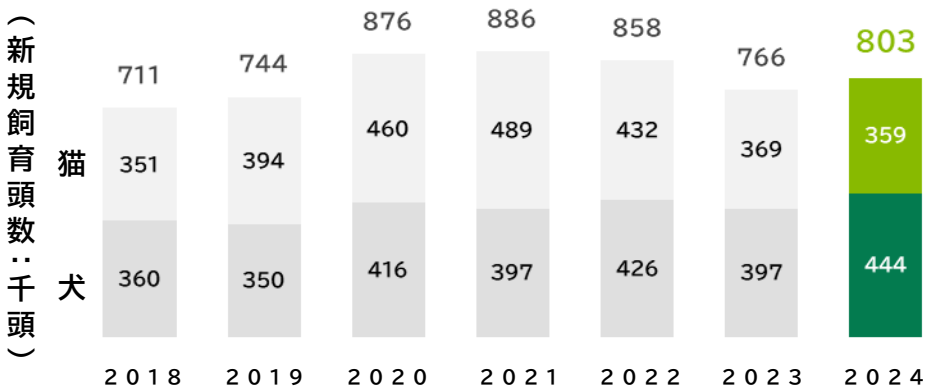
●ペット産業全体の市場規模は引き続き拡大

●プレミアム指向による高品質・高価格商品の需要増加を背景に、量的拡大から質的向上へ

●コロナ禍以降の総飼育頭数は横這い、犬猫共に直近の新規飼育頭数は下げ止まり傾向



出典:㈱矢野経済 ペットビジネスマーケティング総覧
出典:一般社団法人 日本ペットフード協会
※出典元の推計方法変更等により、過去公表の推計値と差異がございます。



出典:一般社団法人 日本ペットフード協会

ブランド力と差別化されたビジネスモデルが選ばれる時代へ

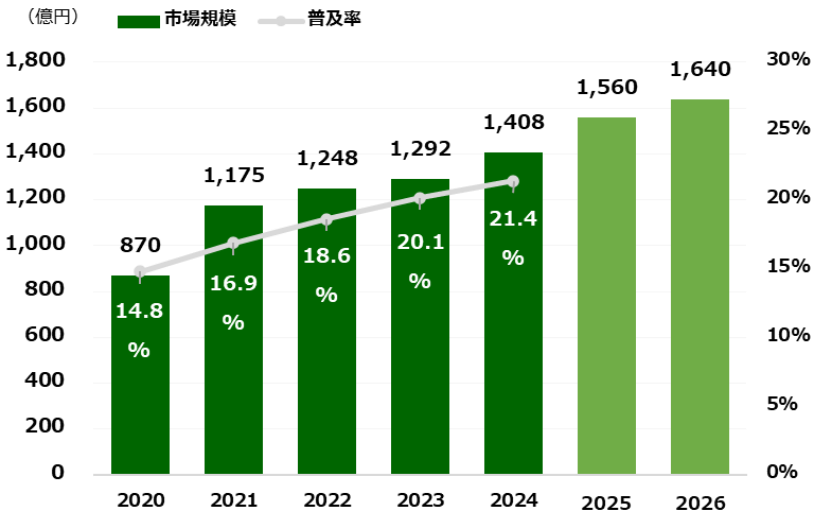
Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3.ペット保険の市場環境

(2)ペット保険市場の推移

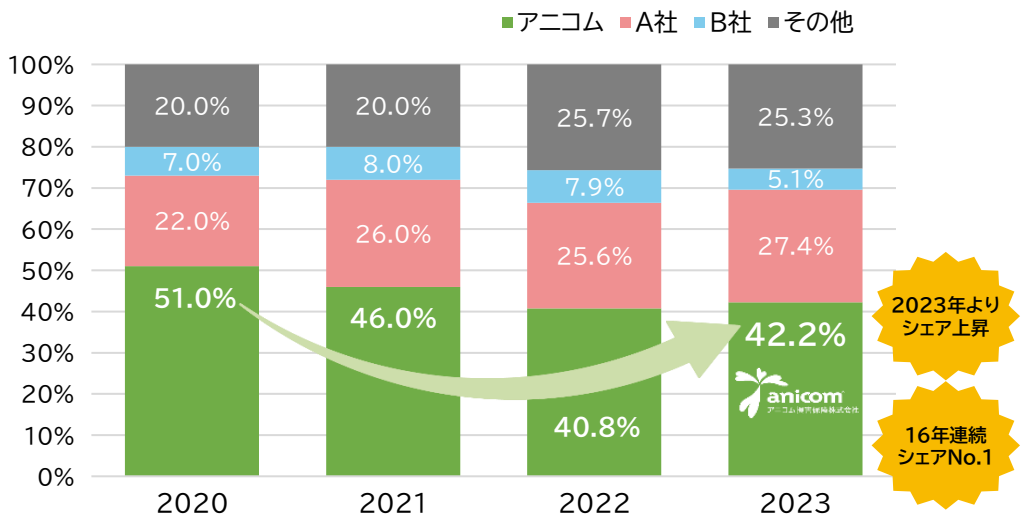
- ●ペットの長寿化や動物医療の高度化、インフレの影響などで、ペット保険に関心が集まる
- ●大手生損保や異業種の新規参入で市場の開拓が進み、ペット保険の普及率は上昇
- ●競争激化や損害率上昇により、ネット型保険の事業撤退が相次ぎ、合従連衡が進行する

ペット保険の市場規模



出典：㈱富士経済 2024年ペット関連市場マーケティング総覧

ペット保険の各社シェア推移（保険料ベース(概算)）



2023年度各社のディスクロージャー誌、決算公告等から当社推計

市場の拡大を背景に、他社協業などで更なるシェアUPを見込む

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

4.ペット保険商品について

01 ペットの健康保険

70%・50%の２つの補償プラン

多様なニーズに応える商品展開

主力商品「どうぶつ健保　ふぁみりぃ」は、全国どの動物病院の診療でも補償対象で、通院・入院・手術をフルカバー。また手頃な保険料で入院・手術の補償に特化した「どうぶつ健保　ぷち」、対象年齢8歳以上で高齢時の入院・手術を補償する「どうぶつ健保 しにあ」もラインナップ。
(注)死亡を補償する商品ではありません。

新サービス「どうぶつ健活」の付帯開始

2018年12月に、契約者に対して健康チェックができる腸内フローラ測定サービス「どうぶつ健活」の無料付帯を開始。この保険業界初の取り組みにより、入ると健康になる「予防型保険」を目指します。

02 保険料と、商品の特長

	70%プラン 支払限度額と限度日数(回数)	50%プラン 支払限度額と限度日数(回数)
通院 入院	1日あたり最高 14,000円まで 利用できる日数は各20日まで(年)	1日あたり最高 10,000円まで 利用できる日数は各20日まで(年)
手術	1回あたり最高 140,000円まで 利用できる回数は2回まで(年)	1回あたり最高 100,000円まで 利用できる回数は2回まで(年)

フルカバー商品の限度額、限度日数

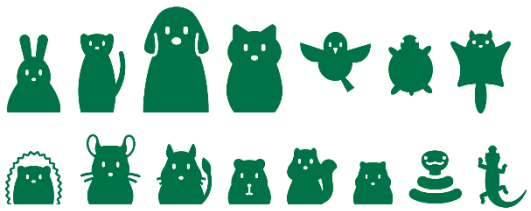
品種と年齢で決まる保険料

「チワワの1歳」(70%プラン/フルカバー型商品)であれば、保険料は年間約34,000円。「ゴールデン・レトリーバーの5歳」であれば、約71,000円です。他社に比べ、年齢による保険料のカーブが緩やかであることが特長です。

限度日数等で、損害率にキャップ

いずれの商品にも、保険の限度額と限度日数があり、損害率のコントロールを行っています。ただ、その中でも、納得感のある補償が受けられるような、手厚い補償内容としています。

03 多様などうぶつを引受け



全15種のどうぶつ種を引受

対象となるどうぶつは15種

犬・猫はもちろん、鳥・うさぎ・フェレットなどペットとして人気があるどうぶつ種に加え、2016年からモモンガ・リス・ハムスター・ネズミ・モルモット・ハリネズミ・カメ・トカゲ、さらに2019年からチンチラ・ヘビの引受けを開始、対象どうぶつ数は業界最多規模となりました。

終身の継続が可能

犬猫で全年齢を対象に新規加入を受付。損保商品のため、1年毎に契約更新は必要なものの、原則終身での継続が可能となっています。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

4.ペット保険商品について

「どうぶつ健活」(腸内フローラ測定+健康診断)

ペット保険の契約者に対して、腸内フローラ測定のサービスを無料で提供しています。

腸内の健康年齢が分かる

同じどうぶつ種の腸内フローラバランスの平均値と比べることで、実年齢だけではわからない体そのものの年齢(腸内健康年齢)がわかります。毎年1回受けられるので、健康管理にも役立ちます。

病気のなりやすさが分かる

アニコムグループが培ってきた数十万件におよぶ腸内フローラの研究データと、保険金の統計から得られた疾病データをもとに、病気のなりやすさを判定します。※腸内フローラ測定は病気の診断ではありません

健康診断のおすすめも

腸内フローラの測定結果によっては、アニコム指定の動物病院での無料健康診断(血液検査)をおすすめします。病気の予防・早期発見につなげていただきたいからこそのサービスです。

One to Oneフードへ

グループ会社のアニコム パフェにて、腸内フローラの測定結果にもとづくOne to Oneフード「きみのごはん 腸内フローラ」を、2021年に販売開始。個々の体の状態にあわせたフードで、ペットの健康を守ります。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.アニコムの強み

① 最大の強み 対応病院数業界トップ※1の「窓口精算システム」

※1 2025年3月時点 当社調べ

<窓口精算イメージ>

動物病院が一時的に負担した保険金(下図の場合 7,000円)は、月末にアニコムからまとめて動物病院へお支払します。

契約者・動物病院・アニコムの3者をシームレスに繋ぐ

「窓口精算システム」を、全国レベルでほぼ確立。新規参入が難しく、高い競争優位性を保持。

01 高い顧客利便性

人の国民健康保険と同様、窓口で保険証を提示すれば自己負担分の支払いだけで済む「窓口精算システム」を構築。少額・高頻度のペット医療だからこそ、使いやすさを重視した日本初のビジネスモデルが最大の強みです。

02 圧倒的な対応病院数

開業当初から拡大に取り組んできた「アニコム対応病院」は約7,000病院(全国の病院の5割以上)に上ります。また新規の動物病院開業時も、広く普及している保険会社との提携が第一選択されやすく、高い競争優位性を誇ります。

03 事務コストの低さ

一件ずつ振込手数料・郵送費・査定等の事務コストがかかる従来型の郵送請求に比べ、窓口精算システムはこれらを大幅に圧縮。年間460万件の保険金請求のうち、約87%が窓口精算で、高い業務効率を達成しています。

GOOD DESIGN AWARD 2024

アニコム損保のどうぶつ健保は、
「入って健康になる保険」としてペット保険で初めて*
グッドデザイン賞を受賞しました。 *受賞者調べ

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.アニコムの強み

② ペット保険の強力な販売チャネル

1 NB（New Born）チャネル(FLOW)

主にペットショップ・ブリーダーで販売される0歳児を対象とした当社最大のチャネル。幼齢のため損害率が低く、契約率の高さが特徴。

ペットとの「出会いの場面」で保険を販売

これから家庭に迎えられるどうぶつが対象のチャネル。全国の主要ペットショップ・ブリーダーと代理店契約を結び、生体販売時に保険を販売。また、譲渡会等のチャネル開拓も。さまざまなペットとの「出会いの場面」での保険販売に注力しています。

加入しやすい商品設計

お迎え直後のペットは急激な環境の変化で体調を崩しやすいため、NB商品は初めの1ヶ月間の診療費を100%補償し加入意欲の向上に繋げています。また若齢のため一般チャネルより中期的損害率は低く、経営効率の向上にも寄与しています。

2 一般チャネル（STOCK）

WEB（当社直販・WEB代理店）や銀行窓口などで販売するチャネル。すでに飼育されているペットを対象とする、豊富なマーケットが特徴。

豊富なマーケット

すでに飼育されている犬と猫（全国で約1,600万頭）およびその他のペットを対象としたチャネル。当社HPでのオンライン契約はもちろん、WEB代理店での販売や、金融機関における窓口販売も行っています。※主な提携企業・代理店：東京海上日動、ソニー損保、明治安田生命、朝日生命、富国生命、アクサ損保、ベネッセ、地域生協、ヤナセ、地方銀行、信用金庫など

戦略的なマーケティングで規模拡大を目指す

全年齢の犬猫が対象で、マーケットは巨大。NBに比べ加入時年齢が高いため、損害率への影響を考慮した戦略的なマーケティングで拡大を目指します。また不正防止のため、厳正な加入前審査や待機期間設置などでコントロールを図ります。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.アニコムの強み

③ 人財の多様性

100名※以上の獣医師のみならず、薬剤師、愛玩動物看護師、トリマー、トレーナー、弁護士、弁理士、公認会計士、アクチュアリー、アナリスト、データサイエンティスト、デザイナー等、多様な人財が在籍しています。それぞれが専門分野を活かすだけでなく、お互いが協力しあうことで、当グループならではの価値を創出しています。

※2025年3月末時点　当社調べ

1 獣医師の専門性を保険に活用

獣医師の知識や臨床獣医療で培った経験から、正確かつ迅速な査定を行っています。また保険の引受審査においても獣医師が多数活躍し、健康状態や病歴を把握し、公平な保険の引受体制を構築しています。

2 ペットショップ・ブリーダー支援

生体管理・衛生指導・往診・繁殖技術等の支援をしています。お迎えするどうぶつが健康体であることは、損害率低下という保険運営上の観点からだけでなく「獣医師が診ている」という飼い主の安心感や、迎えた後のクレーム削減にも繋がります。

3 家庭どうぶつ白書

年間数百万件にのぼる保険金支払い実績や独自アンケート調査の結果などを活用し、日本の家庭どうぶつに関する世界最大規模の統計データ集として2010年から毎年発行しています。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.アニコムの強み

④ シナジー創出の追求

2000年の会社設立時から、予防型保険の確立を理念として掲げ、「予防」をキーワードとした各種取組みや研究開発を通じて、社会課題の解決に資することを経営のミッションとしています。四半世紀の保険事業で得られたデータベースをもとに、グループ内に限らずペット業界全般、さらに業界をも超えるシナジーを創出することを目指しています。

1 データ分析力

アニコムでは保有する犬80万頭、猫30万頭のビッグデータから、若齢発症の原因を特定し、適切な対策を講じることで更なる予防を実現していくことを目指しています。

がんを含む様々な病気の原因探求

【犬・猫】0～7歳の死因

犬　対象総全体:551,023頭　集計対象死亡解約者:1,420頭

1位	慢性腎臓病	7.3%
2位	胃腸炎	6.1%
3位	膵炎	4.2%
4位	てんかん	4.1%
5位	椎間板ヘルニア	3.6%
6位	腸炎	3.5%
7位	歯周症	3.4%
8位	事故/交通事故	3.3%
9位	免疫介在性溶血性貧血	2.8%
10位	異物混入	2.7%

猫　対象総全体:199,103頭　集計対象死亡解約者:1,117頭

1位	慢性腎臓病	25.0%
2位	FIP	18.9%
3位	心臓病	14.1%
4位	肺炎	3.9%
5位	胃腸炎	2.9%
6位	急性腎障害	2.1%
7位	膵炎	1.3%
8位	糖尿病	1.2%
9位	尿道閉塞	1.2%
10位	てんかん	1.1%

(保険における死亡解約日から180日以内の保険請求時の診断名のうち、死亡解約日に最も近い診断名を用いて作成。なお、期間を7日間、90日間と変えた場合であっても、順位は一定程度変わるものの、上位10を占める疾患名自体には大きな変化は見られていない。)

個別疾患の原因探求においては、10年前まで遡った各年齢・各疾患の有病率の有無における悪性腫瘍罹患率の算出など、膨大なデータを分析し活用することで、嘔吐・下痢・血便といった慢性微小炎症の積み重ねが、がん等の発症に大きく関係する可能性を示唆するまでに至っています。

腸内細菌叢検査の活用

「予防」促進のため、腸内細菌の多様性が健康に与える影響に注目し、商品・サービスの開発に取り組んでいます。2018年からペット保険契約者を対象に、腸内フローラ測定サービス「どうぶつ健活」の提供を開始し、2024年度末までに累計80万件以上ご利用いただきました。近年新たに歯周病と病気の罹患率の相関を明らかにし、口腔内細菌に関する新たな取り組みを行っています。

2 高度先進医療

JARVISどうぶつ医療センター Tokyo

ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院を開業します。整形外科、脳外科のほか、歯科、消化器内科などあらゆる分野のスペシャリストが、どうぶつの診療にあたります。また、リバーフィールド社製の手術支援ロボットSaroa(サロア)を獣医療用にカスタマイズした「TSURU」を導入することで、繊細かつ高度な技術が研ぎ澄まされている日本の外科獣医療水準の更なる高度化に貢献し、日本のみならず世界の獣医療発展を促進してまいります。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.アニコムの強み

④ シナジー創出の追求

2000年の会社設立時から、予防型保険の確立を理念として掲げ、「予防」をキーワードとした各種取組みや研究開発を通じて、社会課題の解決に資することを経営のミッションとしています。四半世紀の保険事業で得られたデータベースをもとに、グループ内に限らずペット業界全般、さらに業界をも超えるシナジーを創出することを目指しています。

3 新商品の開発

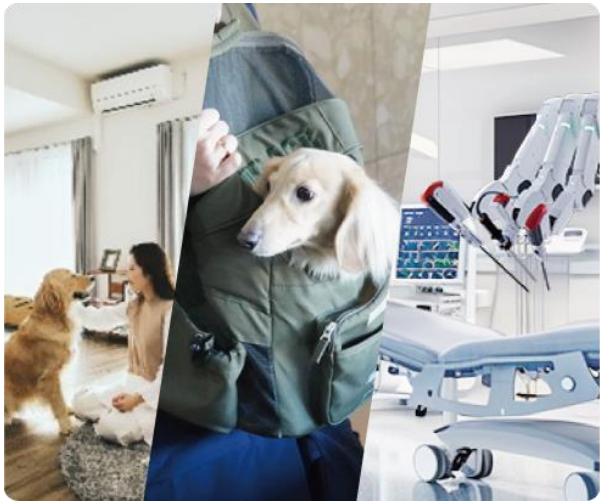
CRYSTAL JOY(クリスタル ジョイ)

内閣総理大臣賞受賞のMA-Tシステムが配合され、特徴は「無色透明・無味・無臭」であることです。また、これまでのアンケート調査によって、2週間使用することで、70%が口臭減、50%が色素沈着の薄れ、40%が歯石の薄れ、40%が食器のヌメリ減を実感いただいています。

7Days Food(セブンデイズフード)

毎日手軽に続けられる健康ごはんとして、鹿肉や鱈、サーモンなど毎日違う味で楽しめるペットフードを開発しました。1食で12品目以上、1週間で55品目以上と多様な食材を使用することで、腸内フローラの多様性が高まり、腸内細菌ケアに繋がります。

4 他企業との連携



ペットとの暮らしをより良く豊かなものにしていくためには、幅広い視点が必要と考え、ペット産業に関わらず、住宅・防災・製薬等、様々な企業様と提携しています。

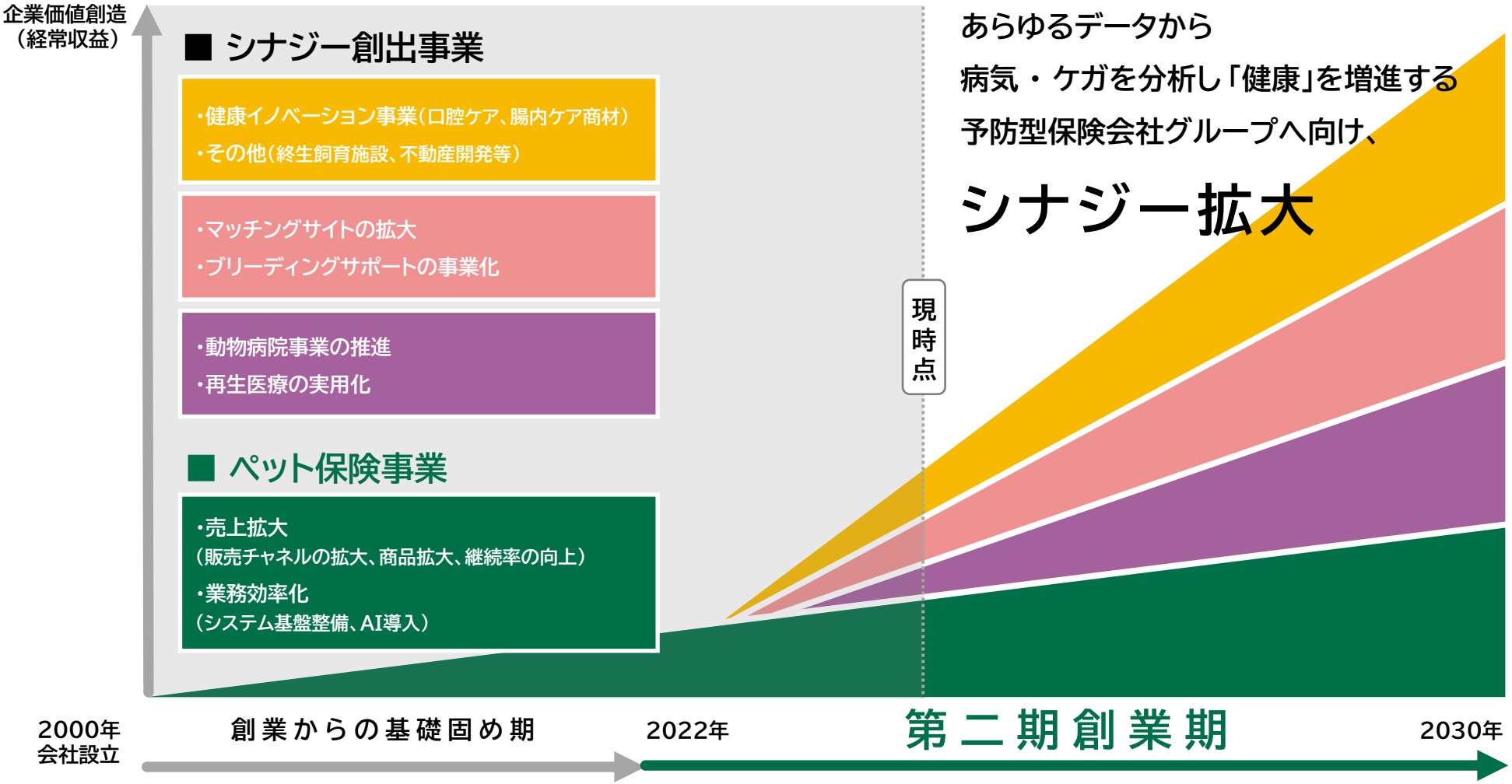
Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

② 中期経営計画2025-2027について

1. アニコムの企業価値創造とは
2. 2030年度ビジョンに向けた2025-2027の位置付け
3. 目指す方向性
4. 主要経営数値目標（連結）
5. 資本政策
6. 基本戦略の概要（重点施策）
7. 主要KPI（保険事業／シナジー創出事業）
8. サステナビリティ経営（CSV経営）

1.アニコムの企業価値創造とは

●ペット保険事業とシナジー創出事業の両輪で、新たな企業価値を創り出し、高成長を継続



Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2. 2030年度ビジョンに向けた2025-2027の位置付け

●2030年度の第二期創業期完了を見据えた経営ビジョン実現への第2フェーズと位置付け

2022	第1フェーズ	2025	第2フェーズ	2027	第3フェーズ	2030
・ペット保険の更なる普及と進化 （ペット保険を空気や水のような存在に） ・シナジー創出事業の拡大 （保険支援のスタビライザー機能の強化）		・保険会社の予防サービス深化（差別化） ・予防ケア「健診×医療×保険」の統合ペットヘルス基盤を構築		・保険会社から健康維持機構への進化 （ペット版HMO：Health maintenance organization） ・ペット業界最大のDBを活用したサービス・商品の浸透によるエコシステムを構築		

2030年度ビジョンの実現へ

どうぶつ業界における川上から川下までを

発展的に繋ぐインフラプレーヤーとして無限大の価値を社会に提供する

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3.目指す方向性

●保険会社における経営の健全性を脅かす主要なリスク

リスク濃縮

事故リスクの高い人ほど保険に加入し、また、実際に保険を利用した人ほど契約を継続する傾向があるため、高リスクの契約者が保険ポートフォリオ内に集中し、保険会社の損失リスクが増大する。

保有契約の高齢化

高齢になるほど損害率が高くなる保険料体系の場合、若齢の新規契約数を伸ばし続けない限り、保有契約が高齢化し、保険会社の収益を圧迫する。

医療費のインフレ

医療技術（手術等）や検査機器（MRI・CT等）の発展による医療費の上昇に伴い、保険金が増加し、保険会社の収益を直接圧迫する。

アニコムグループは、上記の3リスクについて

”主要なリスク”と位置づけ、対応策を実施していく

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3.目指す方向性

●以下、2本の柱にて、主要なリスクに対応

（1）予防型保険の実現

予防サービスの強化によって「入って健康になる保険」を実現し、保険の本質的な価値を向上させるとともに、保険金を抑え保険引受収益の構造を変革する。
独自サービスを強化し、ペット保険の差別化を明確にする。

（2）先進医療の開拓と知財化

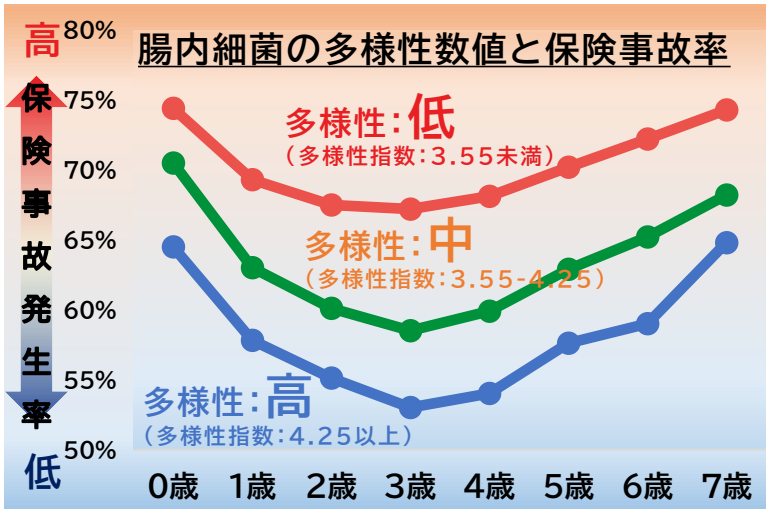
「ロボット手術」をはじめとした次世代の先進医療技術や幹細胞による再生医療の薬事承認を、どこよりも早く実現するとともに技術を知財化し、動物医療の発展に寄与する。また、高度医療の標準化を通じて、医療費のインフレを抑制する。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3.目指す方向性

(1)予防型保険の実現

予防サービスによって、健康でも継続したい保険へ



免疫の可視化(健診)

予防ビジネスが難しい理由の一つとして、「病気」は見えるが「健康」は見えないということが挙げられる。健診(腸内細菌叢検査)によって、「免疫」すなわち「健康度」を可視化し、健康維持のモチベーションを高めるとともに、予防に向けたアプローチを実施していく。

適切な「口腔ケア」と「腸内免疫ケア」

腸内細菌叢の多様性低下を防ぐためには、多様な食事をとることに加え、悪玉菌の侵入を許さないことが重要である。
悪玉菌の代表格は歯周病関連菌であり、口腔ケアによりこれらの侵入を防ぐとともに、多様な食事を提案することで予防を実現していく。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3.目指す方向性

(2)先進医療の開拓と知財化

先進医療の推進と普及

ヘルスケアやエイジングケアは、ヒトにおいてもまだまだ成長が見込まれる領域。保険会社の動物医療ビッグデータと、ヒト分野での再生医療等の先進的な知見を活用し、診断の高度化や新たな治療法の開発を進める。

高度医療技術の標準化

高度な診断や手術を支援するAI診断やロボット手術への積極投資により、高度医療の知財を確保しつつ、医療費の標準化・適正化を進める。

【参考】
ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo』
▸2025年5月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/

ロボット手術含めた高度医療や、先進研究により得られた知見により、

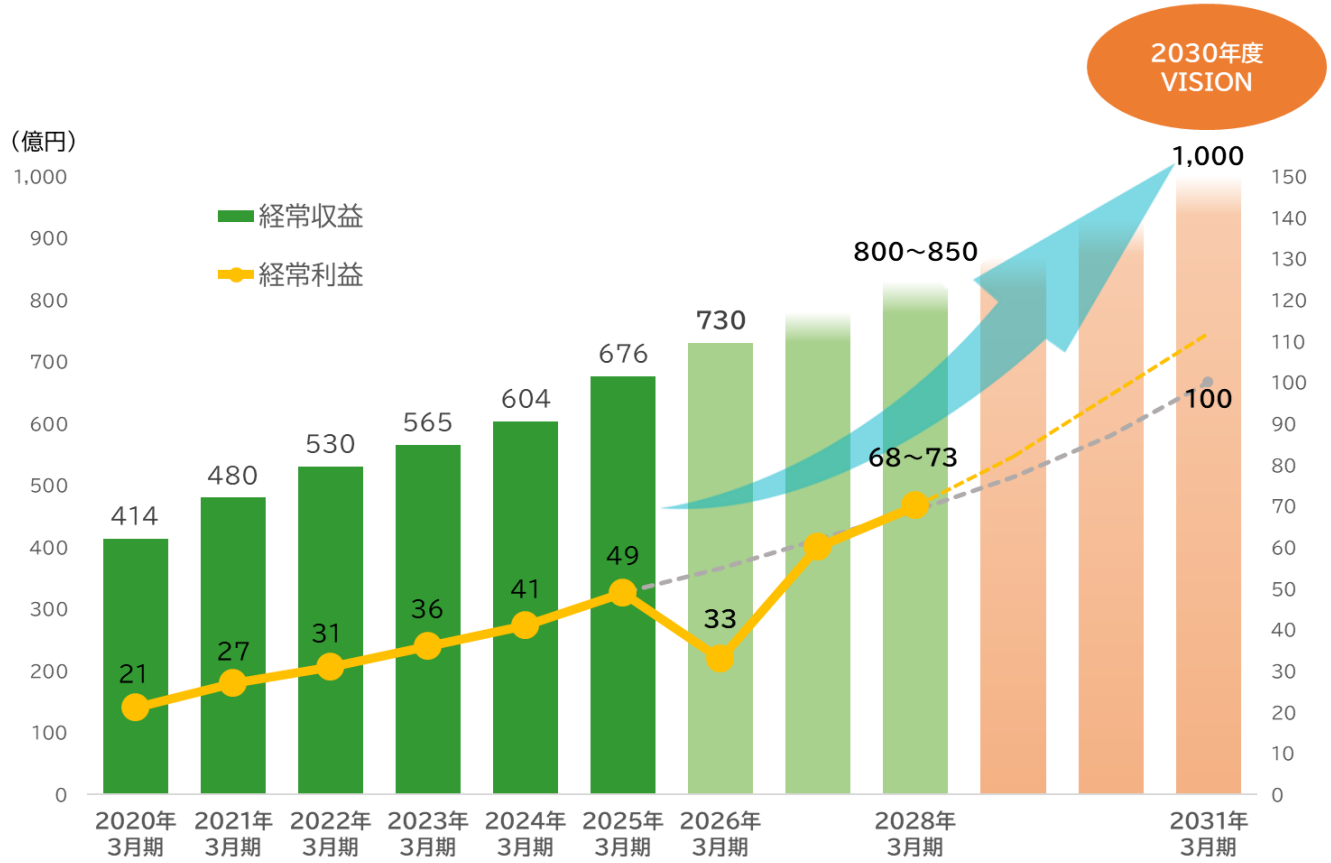
高齢化または医療費のインフレに伴うリスクを軽減する。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

4.主要経営数値目標（連結）

予防型保険実現のための先行投資を実施し、中長期的には更なる利益成長を目指す

2028年3月期　経営数値目標		
連結経常収益 800～850億円	連結経常利益 68～73億円	連結ROE 12%水準



Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.資本政策

(1)基本方針

ESRを適正水準に保ちつつ、『成長投資』、『基盤強化』、『株主還元』の最適なバランスを目指す

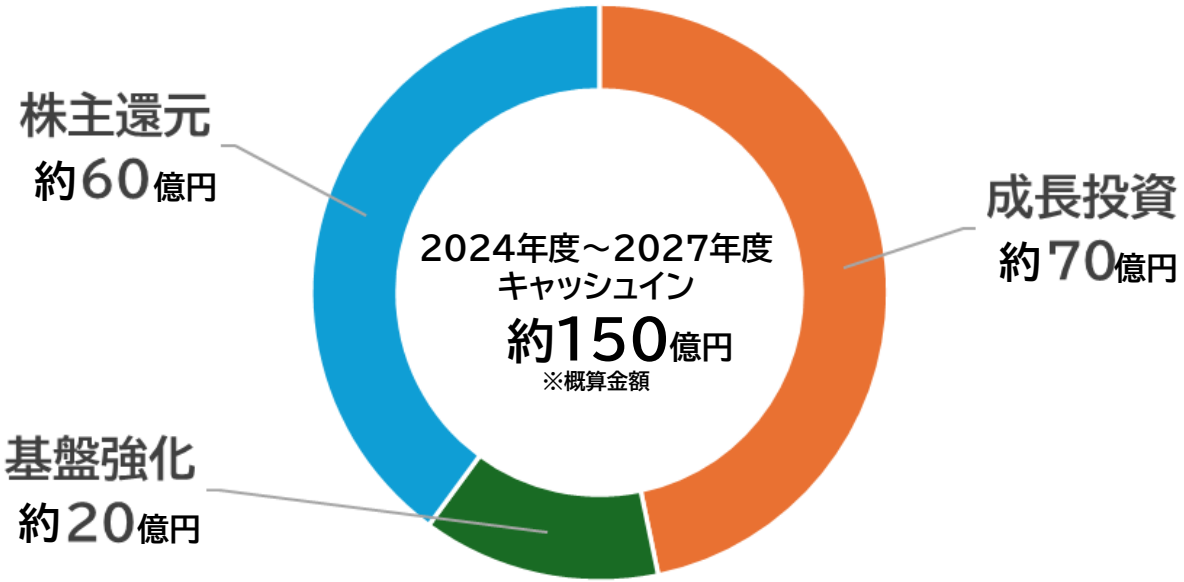
キャッシュアロケーション

配当
配当性向30%水準
継続的な増配を目指す

自己株式取得
機動的な実施を検討

人的資本
専門人材獲得
DX人材育成

業務効率化
AI導入
システム刷新



M&A
動物病院の事業承継

事業拠点
JARVISどうぶつ医療センター Tokyo※

R&D
健康ケア商材の新規開発

【ESRの影響】
・責任準備金などの資産および負債を、経済価値ベースで評価する新たな法規制
・従来の「その他保険」から、リスク係数の低い「ペット保険」への区分変更
・余剰資本の活用を検討

※ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
▸2025年5月9日付ニュースリリース
https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/

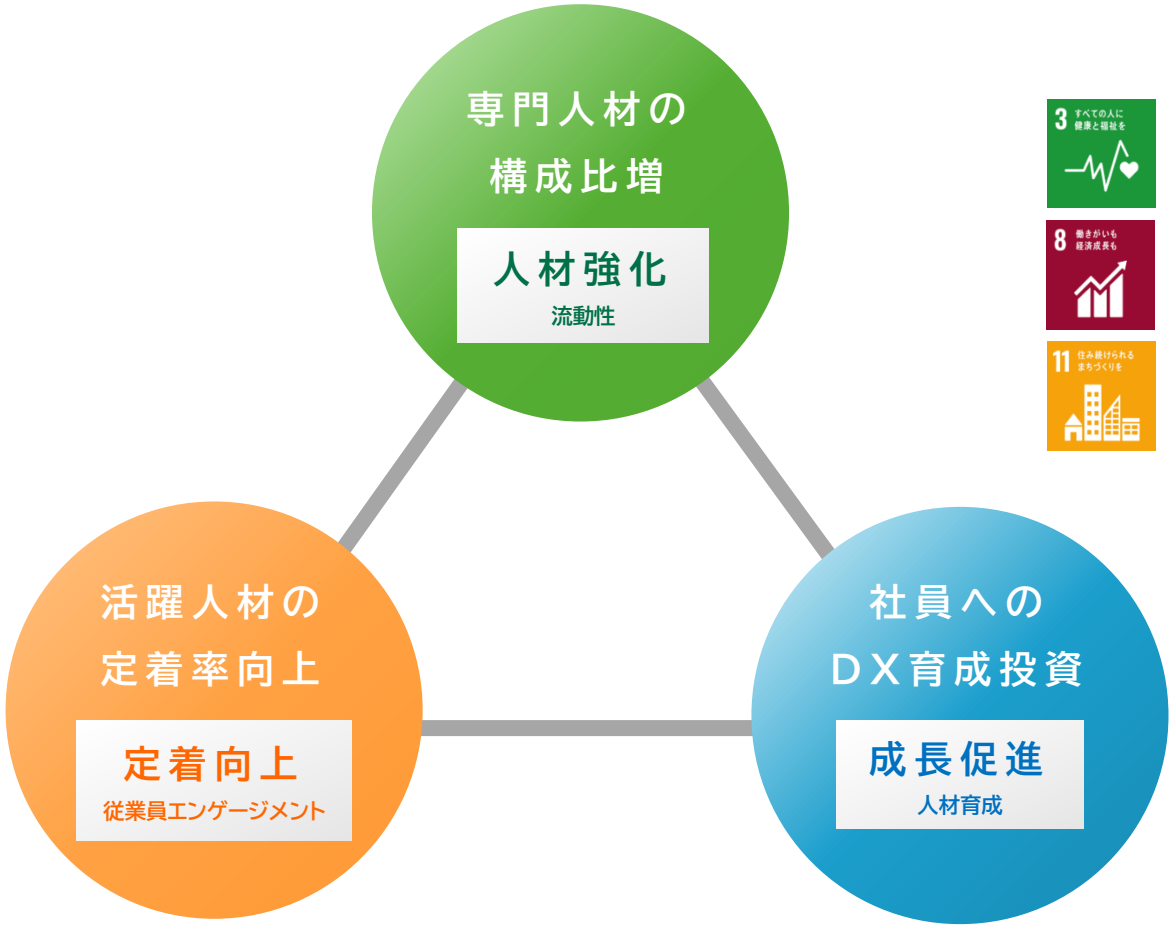
Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.資本政策

(2)人的資本政策

戦略を創出し実現する人材が、つながり、育つ組織に。未来を見据えた基盤強化を図る。

中期経営計画 2025-2027 「2本の柱」
予防型保険の実現
先進医療の開拓と知財化



Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.資本政策

(2)人的資本政策

中期経営計画2022-2024から、基盤強化における重点政策として継続推進する指標

人的資本可視化指針	No.	人的資本KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2030年度目標
流動性	5	自発的離職率	11.8%	13.4%	14.9%	10%
人材育成	9	発明者数(年間)	37名	24名	17名	60名
-	11	子ども教育サポート	-	12名	16名	100名

重点的継続推進の指標

自発的離職率 10%
長期的な育成と活躍を促進することで、
企業価値の持続的な成長を目指す

発明者数(年間) 60名
社会を豊かにする社会学的な子孫を残し、
社員個々人の貢献に意味を成す人材戦略を推進する

子ども教育サポート 100名
子どもたちに先進的な取組みを体験する機会を提供し、
ペットとの共存社会の発展に貢献していく

全社員一人一特許戦略

◆「全社員一人一特許戦略」の推進
2025年3月末 発明者数144名(2024年度 発明者数17名)

【分野別 特許保有件数】※2025年3月末時点

	画像認識AI	遺伝子 フード 腸内フローラ	再生医療	その他	合計
特許保有件数 (2024年度登録件数)	9 (+2)	8 (+2)	2	3	22 (+4)

2024年度 特許登録4件の名称

特許第7503041号
「保険料算出システム及び保険料算出方法」

特許第7559010号
「フード提案システム及びフード提案方法」

特許第7602893号
「イヌ白内障の検査方法、イヌ白内障の検査をするための試薬、及びイヌ白内障の検査キット」

特許第7636958号
「カットスタイル判定システム及びカットスタイル判定方法」

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

5.資本政策

(2)人的資本政策

中期経営計画2025-2027から、基盤強化における重点政策として新たに推進する指標

予防型保険の実現

高度医療の開拓と知財化

専門人材の構成比増

活躍人材の定着率向上

社員へのDX育成投資

重点的新規推進の指標

専門人材の新卒構成比率

「予防型保険の実現」と「高度医療の開拓と知財化」、中計戦略実行に向けて専門人材の構成比を高めていく

エンゲージメントスコア

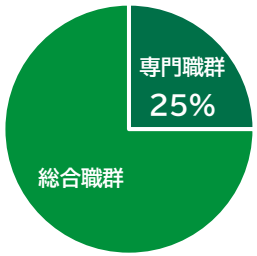
社員の意欲や組織の状態を客観的かつ定量的に示し、企業価値を継続的に向上させる非財務指標とする

健康経営優良法人認定

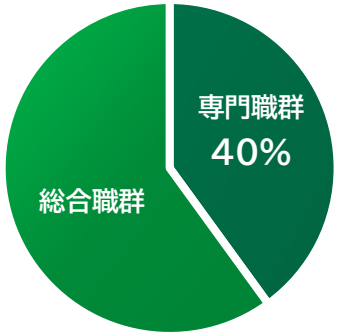
社員の健康を生産性、創造性、働きがいの基盤とし、健康経営への投資で企業の持続的な成長に貢献する

専門人材の新卒構成比率

2024年度



2027年度



人的資本戦略カテゴリー	No.	人事戦略KPI	2024年度末	2027年度	計測頻度
人材強化	1	専門人材の新規学卒者採用構成比率	25%	40%	年次
定着向上	3	エンゲージメントスコア	-	※内部指標	半期
定着向上	6	健康経営優良法人認定	-	取得	可否

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

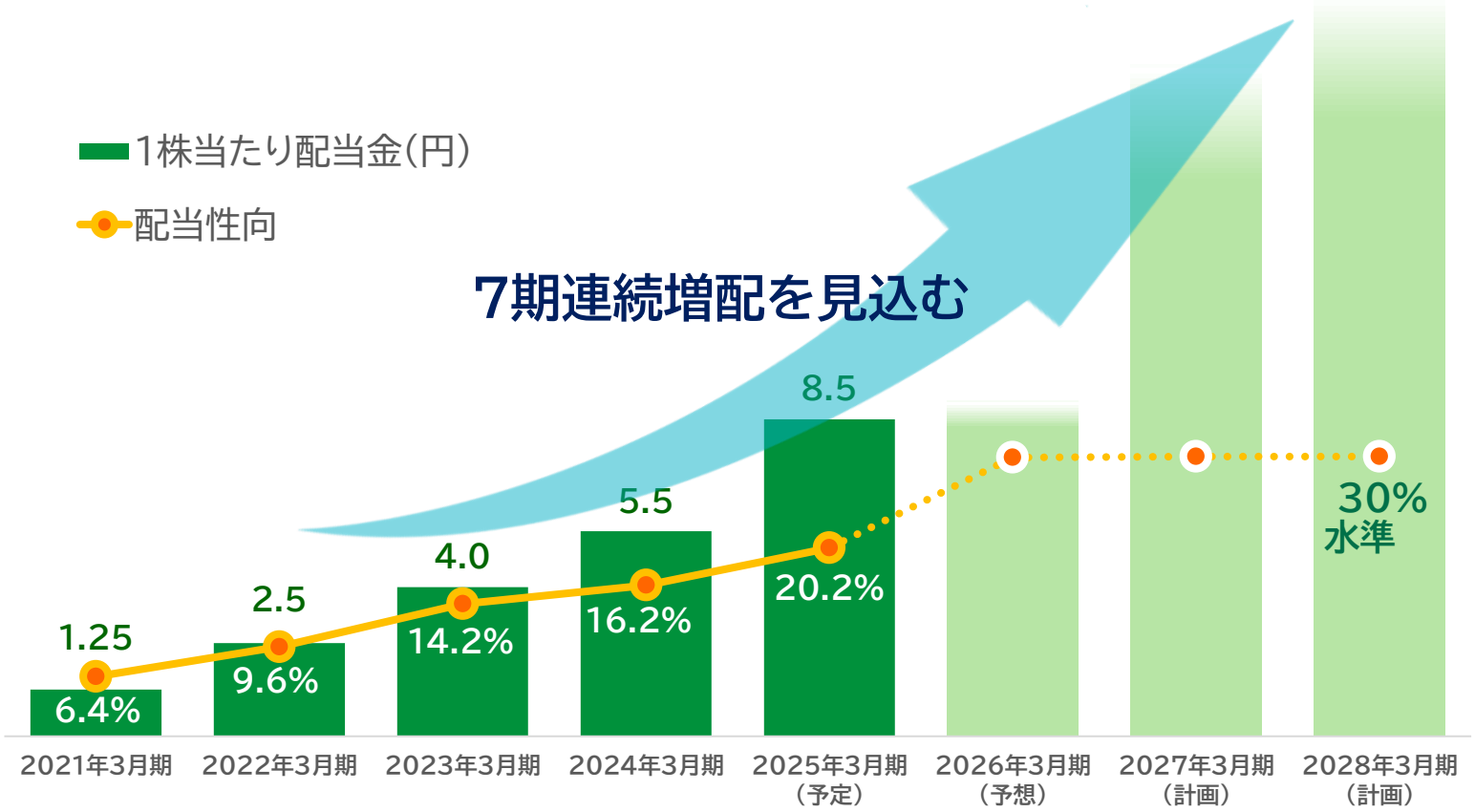
5.資本政策

(3)株主還元

株主還元は配当を基本としつつ、自己株式取得も機動的に実施

配当性向30%水準
利益成長に応じて持続的な向上を目指す

自社株式取得
業績と資本の状況、株価水準、成長投資機会等を勘案して決定



Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

6.基本戦略の概要(重点施策)

どうぶつの一生を豊かで健康にする為の「入って健康になる保険」を実現

強みの『ペット保険事業』

- 予防型保険アニコムの独自性を追求し差別化
- 窓口精算システムによる
  高い顧客利便性と業務効率
- 全国をカバーする営業力と多様な販売チャネル
- 豊富なデータの解析による新たな
  健康延伸サービス等の価値創出
- 多様な専門人材の積極的な登用

anicom
アニコム損害保険株式会社

外部環境

- コロナ禍における特需的な飼育需要は落ち着きを見せるが、引き続き堅調
- 大手企業等の相次ぐペット保険業界への参入
- 動愛法規制強化後、ブリーダーとペットショップの業態融合による
  流通革命の加速
- 動物病院の通院頻度の増加と診療費単価の上昇

どうぶつのライフステージに寄り添った『シナジー創出事業』

川上

- ブリーディング事業
- マッチングサービス事業

Flowens
SIMNET

川中

- 腸内細菌叢検査事業
- 健康イノベーション事業

anicom
アニコム パフェ株式会社

川下

- 動物病院事業
- 高度医療事業

anicom
アニコム先進医療研究所株式会社

社会的価値と経済的価値の両立

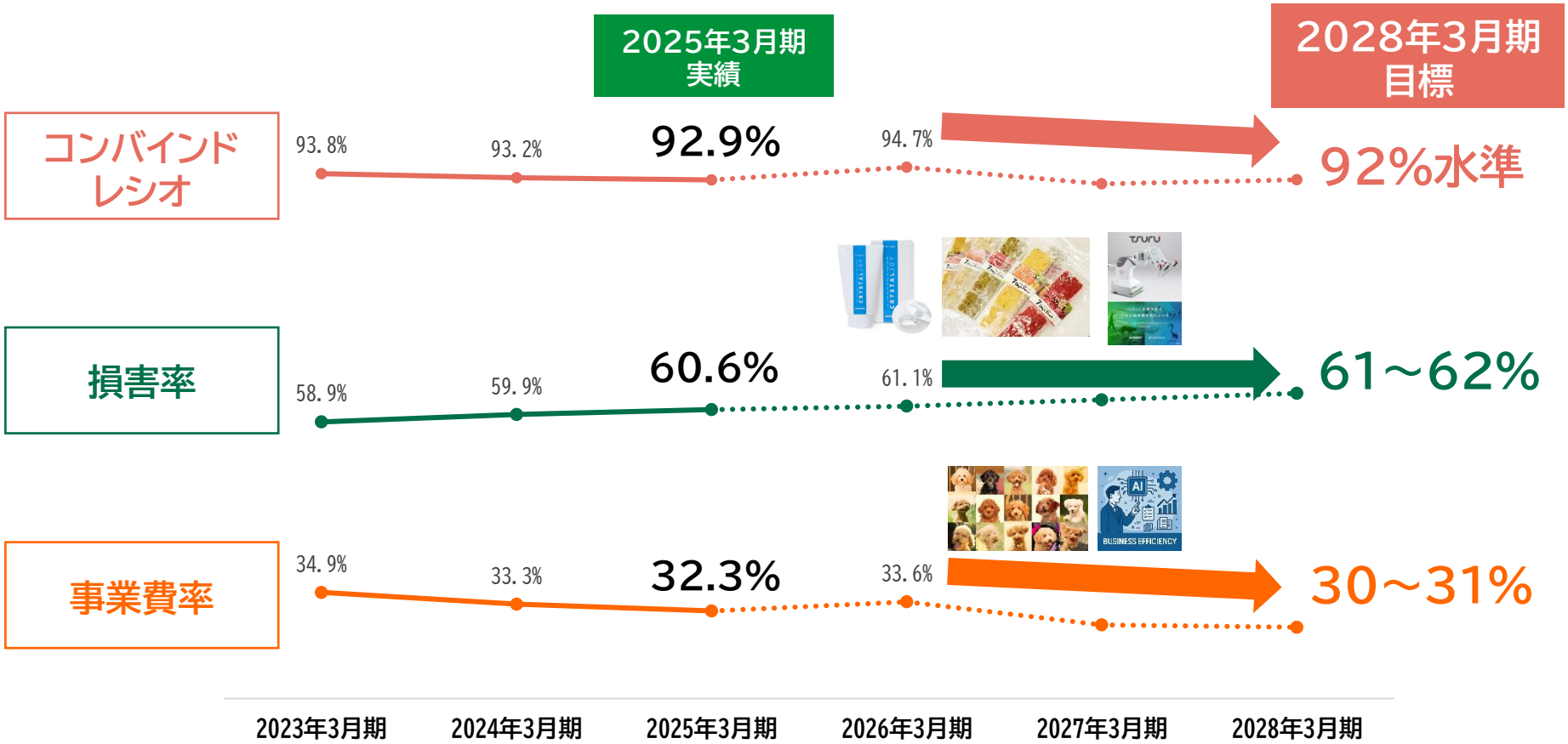
Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

7.主要KPI（保険事業／シナジー創出事業）

(1)保険事業の主要KPI

2028年3月期目標は、2030年度ビジョンにむけた第2フェーズとしての位置付け

販売チャネルの更なる拡大、予防のためのソリューション提供、AIを活用した効率的な業務運営によって、
損害率・事業費率を適切にコントロールし、保険事業の安定的な成長を実現する。



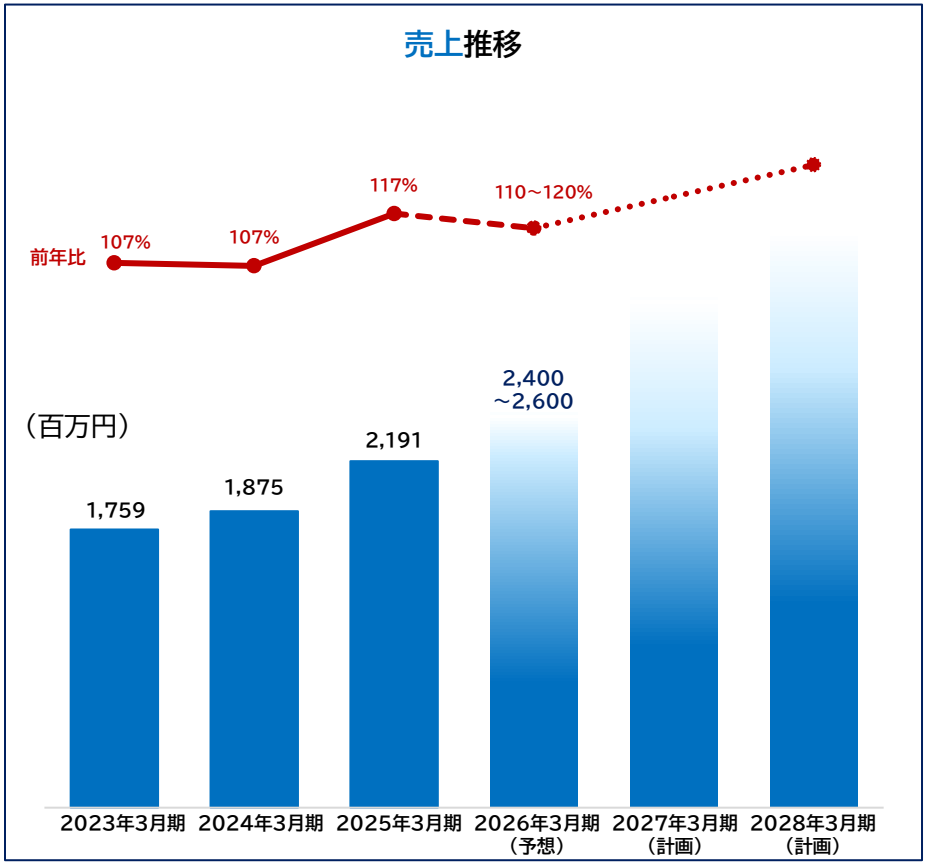
Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

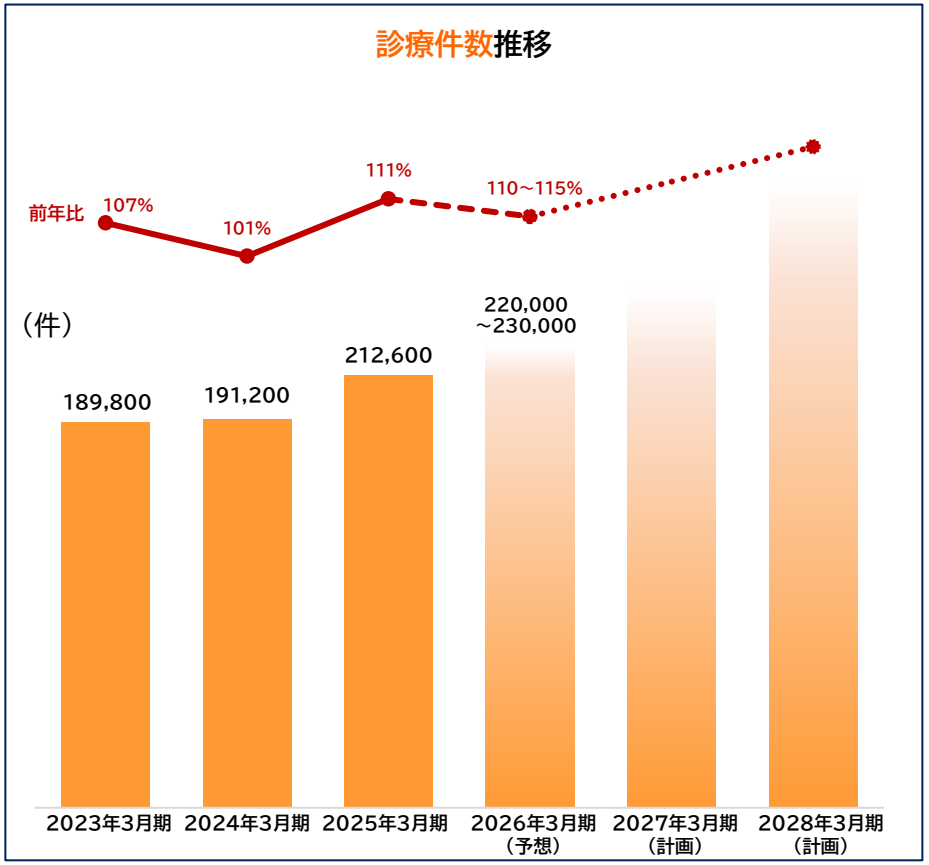
7.主要KPI（保険事業／シナジー創出事業）

（2）動物病院運営事業の主要KPI

グループ病院の売上および診療件数の推移を明示。今後も定期的な情報公開を予定。

グループ病院の売上は堅調な推移。2026年3月期以降は、品川に新規開業する大型病院によるさらなる売上増加を見込む。
併せて、売上に係るKPIとして診療件数についても開示。





Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

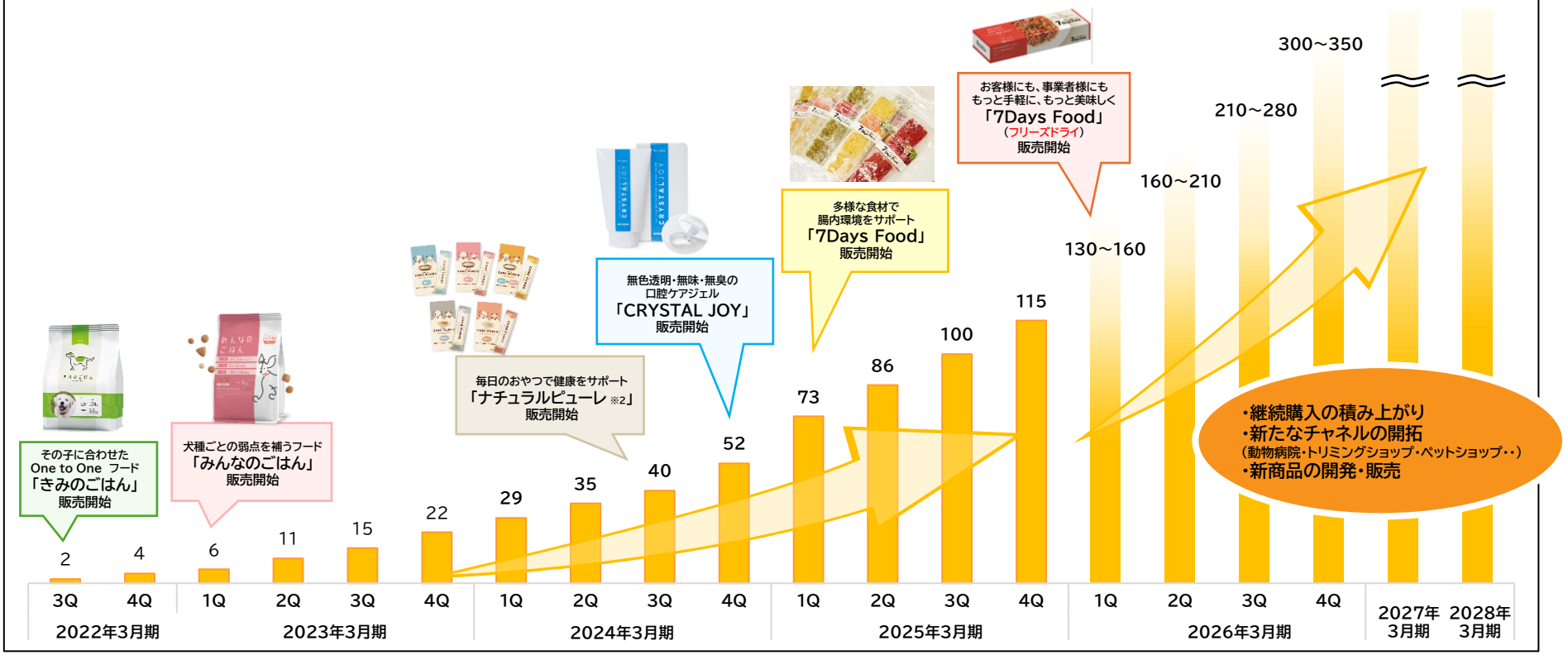
7.主要KPI（保険事業／シナジー創出事業）

（3）健康イノベーション事業の主要KPI

商材・サービスの売上推移を明示。今後も定期的な情報公開を予定。

2021年にドライフード「きみのごはん」を販売して以降、どうぶつの健康増進に向けた商材を展開。販売開始以降、毎年前年比2倍以上の成長を続けており、2025年3月期は3.5億円を超える売上。2026年3月期は8～10億円の売上を見込む。

※1 どうぶつの健康維持に資すると考えられ、ひいては保険事業における損害率低減にも繋がることを見込む商材・サービス



※2 現在は販売終了しており、「CARE PUREE」としてリニューアル。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

8. サステナビリティ経営(CSV経営)

(1)ペット業界で対応可能な社会的課題

大きく4つの社会的課題がペット業界で対応可能

Traceability
(透明性)

サプライチェーンにおける課題

- 不透明なブリーディング環境
- トレーサビリティの断絶
- 繁殖引退どうぶつ
- 遺伝病

Health
(健康・医療)

ペットの健康問題や医療体制の課題

- 標準診療が未成熟
- 医療体制の未整備

Environment
(共生・環境)

共生環境・自然環境の課題

- ペットとの共生環境の不足
- ペットフードによる環境負荷

Well-being
(幸福福祉健全性)

動物福祉における課題

- 劣悪な飼育環境
- 長時間の留守による孤独
- 高齢者等の飼育困難
- 動物虐待、遺棄、殺処分

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

8. サステナビリティ経営(CSV経営)

(2)社会的課題の解決とアニコムグループ事業との関係

グループ事業の成長性

Environment
(共生・環境)

・ペット共生住宅・施設の拡大
・環境負荷に配慮したペットフード
開発・販売

Traceability
(透明性)

・ブリーディングサポート
・遺伝子検査
・終生飼養

Health
(健康・医療)

・動物病院事業の推進
・標準診療の確立
・再生医療の実用化
・保険金削減

Well-being
(幸福 福祉 健全性)

・シェルター運営等を通した
殺処分や動物虐待等の撲滅、
劣悪な飼育環境の改善

社会的課題の大きさ

ペット業界全体の発展との連動性と寄与度を評価し、
マテリアリティ(重要課題)を決定

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

8. サステナビリティ経営（CSV経営）

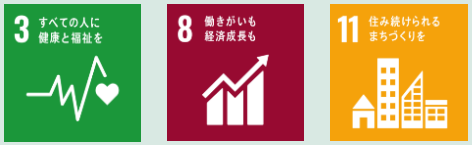
（3）アニコムのマテリアリティ（重要課題）

ペット

- 心と身体の健康
- サプライチェーンの透明性
- ペットの地位向上

人

- 生きがいの提供
- 地域活性化への貢献
- 教育機会の公平化
- 社会機能の強化
- 健康とウェルビーイング



環境

- 気候変動への対応
- 生物多様性の保全

【課題解決に向けた各数値目標】

一人一特許戦略	高齢者・障がい者・子どもふれあいイベント	高齢者・障がい者雇用サポート	子ども教育サポート（動物病院体験等の参加者数）
発明者数100人超	20回／年	順次開始（実績について随時公表）	100名／年

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

8. サステナビリティ経営（CSV経営）

（4）バリューチェーンにおけるアニコムのCSV活動（ESG／SDGs対応）

	誕生	お迎え	生活		お別れ
具体的取り組み	**遺伝子検査** 遺伝病撲滅と健康な生体の流通 **ブリーディングサポート** 動物福祉、環境負荷減、動愛法遵守	**みんなのブリーダー** ペット流通の透明性確保 **里親マッチング（hugU）** やむを得ない事情の飼い主を支援	**腸内フローラ測定** 病気の早期発見と健康管理 **地産地消フード** 環境負荷の少ないフードの開発	**ペット保険** 獣医療の適切な提供 **個体識別** 迷子による殺処分ゼロ **しつけ教室** 飼育ハードル減少、遺棄防止	**再生医療／細胞治療** ”治らない“を治し、健康寿命延伸 **老犬ホーム** 高齢犬の介護負担を軽減 **終生飼養施設** 飼い主がいないペットの受け皿提供
地域社会との関連	**自治体との連携** 動物愛護啓発や殺処分ゼロ、防災等の連携 **アニマルセラピー** ふれあい機会を提供し、人の健康寿命を延伸	**ペット共生グループホーム** 高齢者・障がい者の孤独や不安の解消 **ペット共生住宅** ペットと暮らせる住宅の提供 **子ども教育サポート** 命の輝きに直に触れることで、学びのモチベーションアップへ	**高齢者／障がい者雇用** ブリーディング施設での雇用と働きがい創出 **平和への貢献** 無償の愛の伝達による平和への貢献		

環境に配慮した経営（TCFD対応）

価値創造を支える基盤

「ERM態勢整備」「コンプライアンス」「情報セキュリティ」「人事・組織管理」「内部監査」「危機管理体制強化」

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

3 APPENDIXとして

1. 連結業績の推移

2. 用語の説明

1. 連結業績の推移

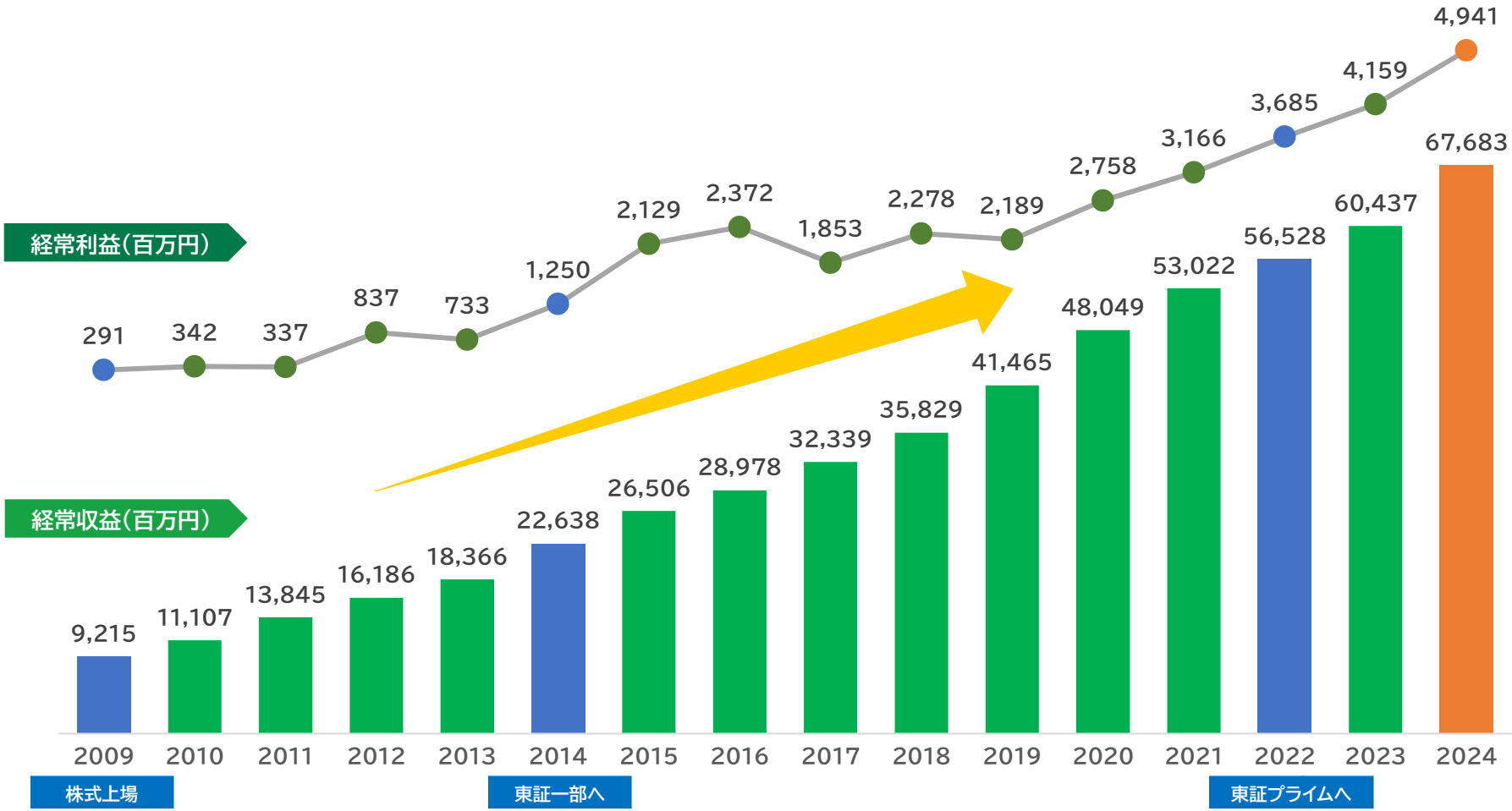
連結経営数値目標

経常収益は、保険以外の事業拡大も寄与し、**過去最高を更新中**

経常利益は、着実に成長を続けながら、**事業拡大への積極投資**を進める

2025年度目標　経常収益730億円

経常利益　33億円



Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

2. 用語の説明

■保険用語について

- 保険料・・・・・・・・・・・・・・・・ 被保険者の被る危険を保険会社が負担する対価として、保険契約者が保険会社に支払う金銭。
- 保険金・・・・・・・・・・・・・・・・ 保険事故により損害が生じた場合に、保険会社が被保険者に支払う金銭。
- 事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ 保険会社の事業上の経費で、営業費、一般管理費、諸手数料及び集金費を総称したもの。
- 損害率・・・・・・・・・・・・・・・・ 保険金の保険料に対する比率。当資料では、発生保険金の既経過保険料に対する比率で表示し、損害調査費を含む数字で記載。
- 事業費率・・・・・・・・・・・・・・ 事業費の保険料に対する比率。当資料では、損保事業に関わる事業費の既経過保険料に対する比率で表示。
- コンバインド・レシオ・・・・・・・・・・ 「損害率」と「事業費率」を合算した数値。100%以下であれば、損害保険会社の収入が支出を上回っていることを示す。
- ソルベンシーマージン比率・・・・・・・ 通常の予測を超えて発生しうる危険に対する、資本金・準備金等の支払余力の割合を示す。
- 異常危険準備金・・・・・・・・・・・・ 巨大災害の発生に備えて、損害保険会社が保険料の一定割合を積み立てる準備金。
- 継続率・・・・・・・・・・・・・・・・ 前年契約件数に対する継続契約件数の比率。
- アンダーライティング・・・・・・・・・ 保険の引受けにあたり、危険の選択、引受条件、料率等を決定すること。

■ペット保険に関する用語について

- NBチャネル ・・・・・・・・・・・・・ 主にペットショップで販売される0歳児を対象とした当社最大のチャネル。NBはNewBornの略。
- 一般チャネル・・・・・・・・・・・・・ すでに飼育されているペットを対象にした、WEBや金融機関窓口等での販売チャネル。
- 対応病院制度・・・・・・・・・・・・・ アニコム損保と予め契約した、窓口精算システムを導入している動物病院のこと。
- 窓口精算システム・・・・・・・・・・・ 動物病院での診療費の精算時に、自己負担分のみを支払うことにより、保険金の請求手続きが終了する仕組み。
- 付保率・・・・・・・・・・・・・・・・ 主にペットショップおいて、販売されたどうぶつのうち、ペット保険に加入したどうぶつの比率のこと。
- 普及率・・・・・・・・・・・・・・・・ 日本国内で飼育されている犬猫のうち、ペット保険に加入している犬猫の比率のこと。

Anicom Holdings, Inc. All Rights Reserved.

お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社
経営企画部（IR事務局）

東京都新宿区西新宿8-17-1住友不動産新宿グランドタワー39階
URL：https://www.anicom.co.jp/

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。
本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。
これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。
従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようにご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。
なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではございません。